T.sonic™ 610

ユーザーマニュアル

P/N TS512M/1G/2GMP610
P/N TS512M/1GMP610C

目次

はじめに

トランセンドの **T.sonic ™ 610** をご購入いただき誠にありがとうございます。この小さなデバイスは単なる USB フラッシュドライブではありません。USB フラッシュドライブに MP3、AB リピート、ボイスレコーディングの機能、FM ラジオが一緒になっています。USB コネクターを接続するだけで USB ポートがついたデスクトップやノートブックと大きな容量のデータを交換することが可能です。MP3 の機能ではミュージックファイルを PC からダウンロードしたり、アップロードしたりでき、**T.sonic ™**をまるで MP3 プレーヤーのように使用することができます。AB リピート機能を使って、トラックの特定セクションを連続リプレイすることもでき、ボイスレコーディング機能で **T.sonic ™610** をデジタルレコーダーとしてお使いにもなれます。FM ラジオが内蔵されていますので、いつでもお好きなラジオステーションを聞くこともできます。

パッケージ内容

T.sonic のパッケージには以下が同梱されています:

- **T.sonic**
- イヤホン
- ドライバ CD
- USB 延長ケーブル
- レザーケース
- クイックインストールガイド

特色

- **T.sonic** は USB でデータ転送することができるだけでなく、再充電可能なリチウムイオンポリマーバッテリーに USB 経由で充電することも可能です。(フルチャージで最大 14 時間稼動します。)
- MP3、WMA と WAV フォーマット対応の MP3 プレーヤー
- デジタルボイスレコーダー
- AB リピート対応､トラックのお好きなセクションを連続再生することができます。
- FM チャネル 20 個をプリセット､FM チャネルから WAV ファイルへ録音することができます。
- 5 分間又は 10 分間使用が途絶えると自動的にパワーオフします。
- 鮮明で明るい画面と鮮やかな色をもつ自己発光 OLED ディスプレイはどんな角度からでも容易に見ることができます。
- 省エネ機能として、自動スクリーンセーバー機能があり、ユニットが一定時間アイドリング状態にあると起動します。
- 対応 OS: Windows® 98SE、Windows® Me、Windows® 2000、Windows® XP、Mac™ OS 10.2.8 以降 (USB のドライバをアップデートする必要がある場合があります)、Linux™ kernel 2.4 以降。Windows® 98SE のみ同梱のドライバが必要です。 (リカバリーユーテ

ィリティは Windows のみ対応しています。)

システム動作環境

USB ポート付のデスクトップもしくはノートブック

以下のオペレーションシステムのうちいずれか:

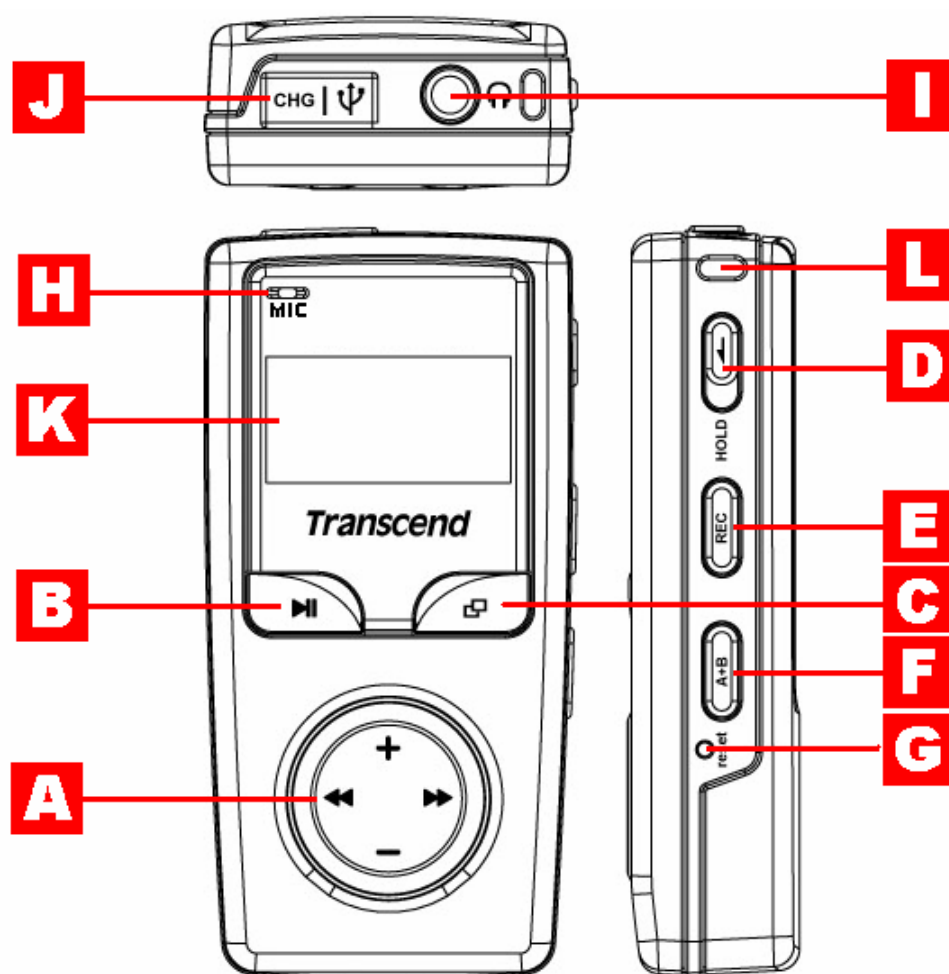
- Windows 98SE
- Windows Me
- Windows 2000
- Windows XP
- Mac OS 10.2.8 以降
- Linux kernel 2.4 以降

ご使用する前に

1. **T.sonic** を高熱、直射日光、湿気から避けてください。折ったり曲げたり落としたりしないようご注意ください。
2. 電源を入れる前に、**HOLD** スイッチが“**OFF**”の位置になっているか確認してください。
3. **T.sonic** を挿し込む/外すときは側面をお持ちください。
4. **Windows** の“クイックフォーマット”や“フルフォーマット”を使って **T.sonic** のフォーマットをしないでください。
5. **T.sonic** を取り外すときは“**T.sonic の正しい取り外し方**”の手順に沿って行ってください。

警告：聴覚障害のリスク

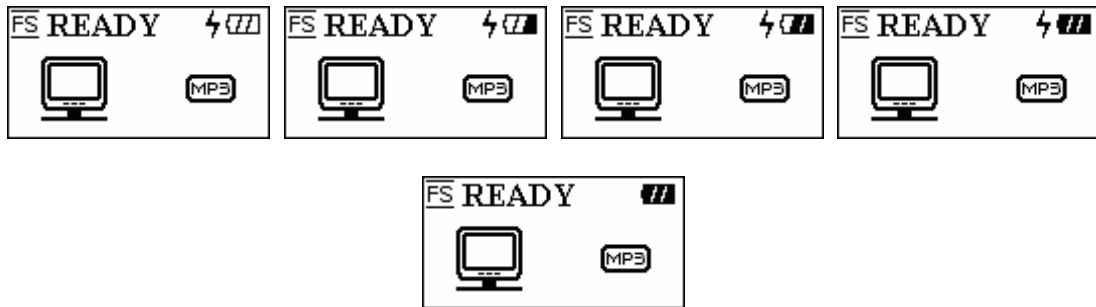
1. 習慣的にヘッドフォンやイヤホンを使用し、80 デシベル以上で音楽を聴いていると大きな音でも音量が充分ではないという誤った感覚になることがあります。音量を徐々にコントロールし、耳へのダメージ、リスクを減らしてください。
2. 聴覚を守るために MP3 プレーヤーの音量を 80 デシベル以下にして、長時間のご使用は避けてください。頭痛、吐き気、聴覚障害などの症状が現れた場合はご使用をやめてください。
3. MP3 プレーヤーの音量は 100 デシベルまでに制限されています。
4. MP3 プレーヤーとイヤホンはウォークマン用のフランス規格に準拠しています。(1998 年 7 月 24 日規定)
5. ヘッドフォンをご使用する前に、技術的特色がオリジナルのものと類似しているかを確認してください。

製品概要

- A ジョイパッド
  - ▶ 次へ / 早送り (右)
  - ◀ 前へ / 巻戻し (左)
  - ＋ ボリュームを上げる (上)
  - − ボリュームを下げる (下)
- B **PLAY** ボタン
- C **MENU** ボタン
- D **HOLD** スイッチ
- E **REC** ボタン
- F **A-B** ボタン
- G **Reset** ボタン
- H マイクロフォン
- I イヤホンジャック
- J ミニ USB コネクター
- K OLED ディスプレイ
- L 首掛け用ストラップ穴

OLED ディスプレイ

アイコン	表示
❶ 音量	音量を表示します。
❷ リピートモード	ノーマル、1 回リピート、全てをリピート、ランダムなどのリピートモードを表示します。
❸ **EQ** モード	Normal、Classical、POP、Rock、Jazz、USER EQ などの EQ モード設定を表示します。
❹ **A-B** リピート	AB リピート機能の使用時に表示されます。
❺ ホールド	ホールド機能の使用時に表示されます。
❻ 充電状態	充電状態を表示します。
❼ バッテリー状態	バッテリー状態を表示します。
❽ ファイル情報	ファイル/アルバムや詳細を表示します。
❾ オペレートモード	再生、ポーズ、早送り、巻戻しなどのオペレート状態を表示します。
❿ ボタン表示	ボタンの機能を表示します。

バッテリーの充電

1. **T.sonic** のゴムキャップを開け、内部のミニ USB ポートを確認します。
2. USB ケーブルで **T.sonic** のミニ USB ポートとコンピュータの USB ポートを接続します。
3. 電源を入れると、ディスプレイに準備の状態のイメージが表示されます。充電中は、稲妻のロゴとバッテリーアイコンが点滅します。充電が完了すると、稲妻のロゴは消え、バッテリーアイコンはバッテリーの残量を表示します。

- ❖ 初めて **T.sonic** を使用する際は、必ず充電を行ってください。
- ❖ バッテリーの残量が少ない場合、バッテリーアイコンは点滅します。充電を行ってください。
- ❖ フルチャージにはおよそ 3 時間かかります。
- ❖ バッテリーの寿命は充電の頻度に依存しています。頻繁に充電を行うことはバッテリーの寿命を短くします。

基本操作

電源オン

PLAY ボタンを長押しして電源を入れます。OLED ディスプレイにロゴが現れ、**T.sonic** が利用可能な状態になります。

T.sonic Family
Initializing.........
Transcend Transcend Transcend
T.sonic 610
VER 1.0 FREE: 256 MB

- ❖ 電源がオンするまでの待ち時間は T.sonic が保存しているファイルの数により異なります。たくさんのファイルが保存されていると、その待ち時間は長くなります。

電源オフ

PLAY ボタンを長押しして電源を切ります。約 3 秒後に **Power Off Status Bar (電源オフ状態バー)** が OLED ディスプレイに現れて電源オフの状態を表示します。**PLAY** ボタンを離すと電源がオフになります。

トラックの再生

PLAY ボタンを押して MP3/WMA 又は WAV トラックを再生します。

トラックのポーズ

トラックの再生中に **PLAY** ボタンを押してポーズします。

次のトラックへ進む

ジョイパッドの右側 (次へ) を押して次のトラックへ進みます。

前のトラックに戻る

ジョイパッドの左側 (前へ) を押して前のトラックに戻ります。

早送り

ジョイパッドの右側 (早送り) を押しつづけて早送りします。

巻戻し

ジョイパッドの左側 (巻戻し) を押しつづけて巻戻しします。

ボリュームを上げる

ジョイパッドの上側 (ボリュームを上げる) を適度と思われる音量になるまで数回押して調節します。

ボリュームを下げる

ジョイパッドの下側 (ボリュームを下げる) を適度と思われる音量になるまで数回押して調節します。

トラックのリピート

詳細は､後のページでご説明しております” **MP3 機能**”についての中の“**設定モード**”をご覧ください。

全トラックのリピート

詳細は､後のページでご説明しております” **MP3 機能**”についての中の“**設定モード**”をご覧ください。

トラックのランダムなリピート

詳細は､後のページでご説明しております” **MP3 機能**”についての中の“**設定モード**”をご覧ください。

トラック内の一部をリピート(AB リピート)

リピートしたい部分の始まりで **A-B** ボタンを押して、終わりたい部分で再度ボタンを押します。MP3、WMA、WAV トラックのこの機能で指定された部分が繰り返し再生されます。

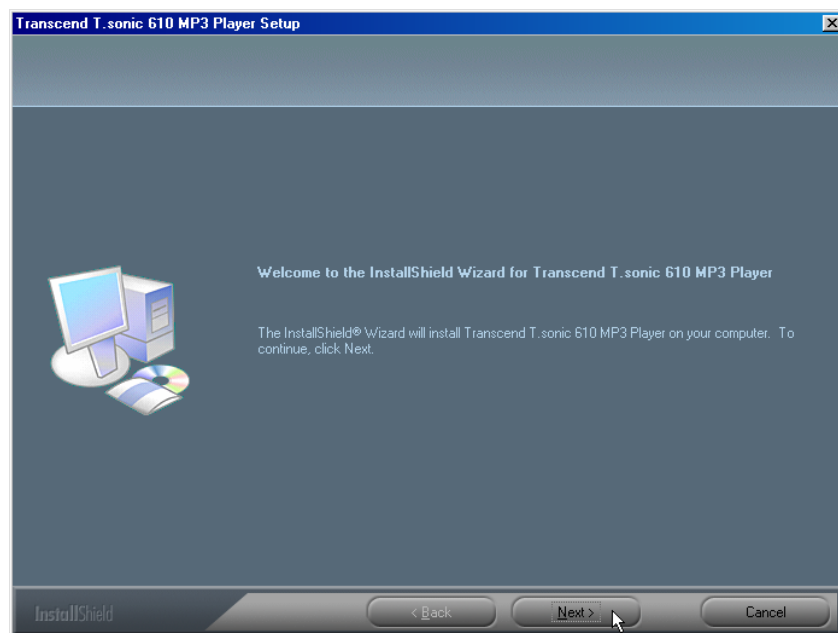
ホールド

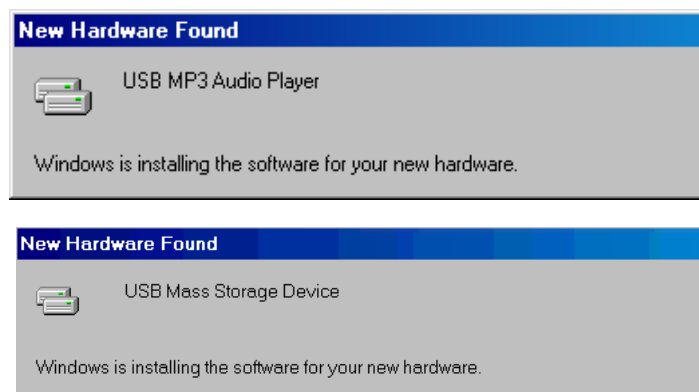
HOLD スイッチを“**HOLD**”の位置に設定する、すべてのボタン操作が無効となります。

ドライバーのインストール

Windows 98SE へのドライバのインストール

1. ドライバ CD を CD-ROM(オートラン対応)に挿入します。**Win98 Driver** のボタンをクリックします。

2. **Next** をクリックして続けます。

3. インストールシールドウィザードが現れインストール手順をガイドします。

4. ドライバのインストール完了後、**T.sonic** を利用可能な USB ポートに挿します。**New Hardware Found** (新しいハードウェアを見つけました)ダイアログボックスが表示されます。

5. コンピュータが自動的に新しいデバイスを認識します。**マイコンピュータ**で、新しい **Removable Disk** (リムーバブルディスク)のドライブが確認できます。

Windows Me、2000、XP へのドライバのインストール

ドライバは必要ありません。上記 OS 上では **T.sonic** はデフォルトでサポートされています。利用可能な USB ポートに差し込むだけで、OS 側でデバイスに必要なファイルをインストールします。マイコンピュータで新しいリムーバブルディスクとしてご確認頂けます。

Mac OS 10.2.8 以降へのドライバのインストール

ドライバは必要ありません。利用可能な USB ポートに差し込むだけで、OS 側で自動認識します。(USB のドライバをアップデートする必要がある場合があります。)

Linux Kernel 2.4 以降へのドライバのインストール

ドライバは必要ありません。ご利用可能な USB ポートに差し込みマウントします。

例:
1. **/mnt/T.sonic** のディレクトリーを作ります。
   mkdir **/mnt/T.sonic**
2. **T.sonic** をマウントします。
   mount –a –t msdos **/dev/sda1 /mnt/T.sonic**

注意

1. コンピュータに接続している時、**T.sonic**はファイルの転送のみ可能です。この時、ファイルの再生や録音はできません。再生または録音する場合は、コンピュータから**T.sonic**を取り外してご使用ください。

2. **T.sonic**の損傷を防ぐために、決して**T.sonic**を**Windows**でフォーマットしないでください。

3. **T.sonic**のルートディレクトリに隠しファイル**“settings.610”**があります。それを削除しないでください。

4. **T.sonic**は**50**のフォルダと**395**のオーディオファイル**(MP3/WMA/WAV)**を保存できます。

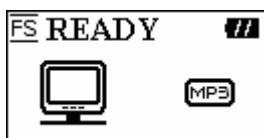
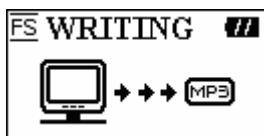
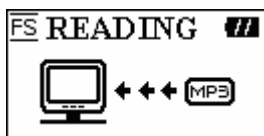
5. 音楽モードを利用するために、オーディオファイル**(MP3/WMA/WAV)**はルートディレクトリーから**4**階層以内のフォルダに入れてください。

6. **T.sonic**は半角**80**字までのファイル名をつけることができます。

MP3 機能

MP3/WMA ファイルのダウンロード又はアップロード

1. **T.sonic** のゴムキャップを開け、内部のミニ USB ポートを確認します。USB ケーブルで **T.sonic** のミニ USB ポートとコンピュータの USB ポートを接続します。

2. マイコンピュータで、新しい **Removable Disk** (リムーバブルディスク)のドライブが確認できます。OLED ディスプレイが下記の準備の状態のイメージを表示します。

3. ファイルの名前/アイコンをクリックし、お好きな場所にドラッグしてコンピュータから/に MP3/WMA ファイルを **T.sonic** に転送することができます。OLED ディスプレイが下記の ***WRITE*** メッセージを表示します。

4. MP3/WMA ファイルを **T.sonic** からコンピュータに転送する場合は、OLED ディスプレイが下記の ***READ*** メッセージを表示します。

5. 転送が終了すると OLED ディスプレイは準備の状態のイメージに戻ります。

❖ **T.sonic** は Mpeg I Layer 3 と WMA ファイルの 32Kbps–320Kbps 圧縮レートのみ対応です。

MP3 の再生

1. **PLAY** ボタンを押して電源を入れます。初期状態では、ディスプレイは音楽再生機能になっています。

❖ **Music** アイコンを選択し、**PLAY** ボタンを押すと音楽機能に移動します。

2. 利用可能な MP3 又は WMA ファイルがない場合、OLED ディスプレイに “ **No Files** ”(ファイルがありません)メッセージが表示されます。

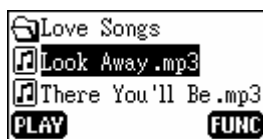
3. ジョイパッドの右側 (次へ) 又は左側 (前へ) を押して、MP3/WMA ファイルを選択します。ファイルはアクセスされた順に表示されています。

4. **PLAY** ボタンを押して、MP3/WMA ファイルを再生します。

5. **MENU** ボタンを長押しして、モード(音楽、ナビゲーション、設定)を切り換えます。詳細については“ナビゲーション機能の利用”と“設定モード”を参照ください。

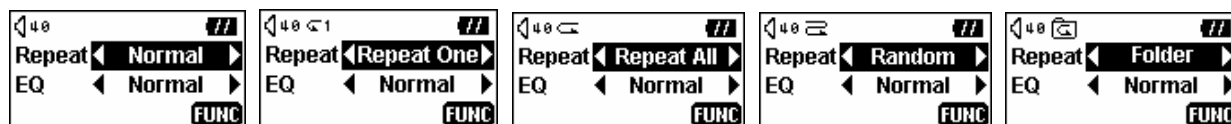
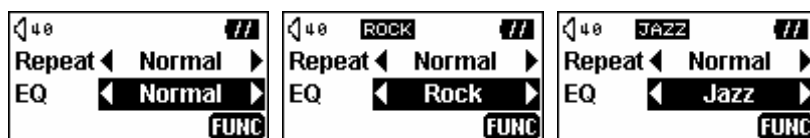
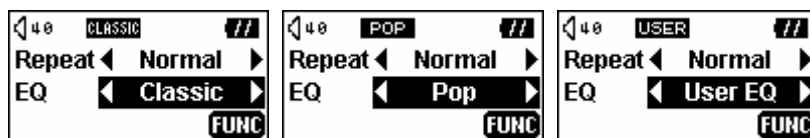
6. さらに **MENU** ボタンを押すとメインメニューに移動します。

ナビゲーション機能の利用

1. 音楽モードで、**MENU** ボタンを長押しするとナビゲーションモードに切り換わります。

2. ジョイパッドの右側 (次へ) 、左側 (前へ) 、上側 (ボリュームを上げる) 、下側 (ボリュームを下げる) を押して、お好みの MP3/WMA ファイルを選択します。

3. **PLAY** ボタンを押して MP3/WMA ファイルを再生します。また、**MENU** ボタンを長押しすると設定モードに切り換わります。

設定モード

1. ナビゲーションモードで **MENU** ボタンを長押し、設定モードに切り換えます。

2. ジョイパッドの右側 (次へ) 又は左側 (前へ) を押して、お好みのモードを選択します。ジョイパッドの上側 (ボリュームを上げる) 又は下側 (ボリュームを下げる) を押して、REPEAT と EQ 機能を切り換えます。

❖ お好みの EQ モードを選択します: NORMAL、POP、JAZZ、CLASSICAL、ROCK、USER EQ

❖ USER EQ を選択の場合、詳細については"**設定**"の"**EQ**"の項目を参照ください。

3. **MENU** ボタンを長押しすると音楽モードに戻ります。

AB リピート機能

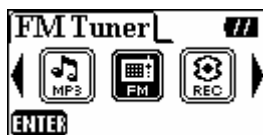
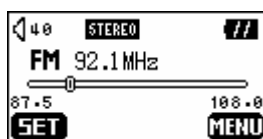
一つのトラック内の部分リピートをするには以下の手順に沿ってください。

1. MP3/WMA 又は WAV トラックを再生します。
2. **A-B** ボタンを押し、繰り返したい位置のはじめにタグをつけます。**A** の文字が OLED ディスプレイに表示されます。

3. **A-B** ボタンを再度押し、繰り返したい位置の最後にタグをつけます。**A-B** の文字が OLED ディスプレイに表示され、タグをつけた部分が繰り返し再生されます。

4. 通常の再生に戻したいときは、**A-B** ボタンを再度押してください。

FM 機能

1. **MENU** ボタンを押してメインメニューを開きます。**FM Tuner** アイコンを選択し、**PLAY** ボタンを押して FM 機能を開きます。

2. OLED ディスプレイに FM ラジオ周波数が表示されます。

3. **MENU** ボタンを押すとメインメニューに移動します。

❖ FM 機能を初めてご使用する場合、全チャネルは一度オートスキャンされます。初めの 20 チャ

ネルは強い電波を受信した周波数でセットされます。

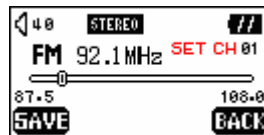
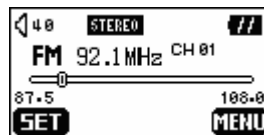
❖ FM モードの良好な受信のために、イヤホンが **T.sonic** にしっかりと接続されているか確認してください。

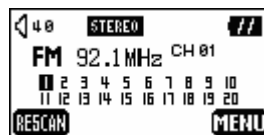
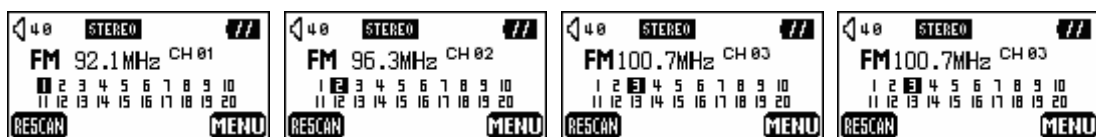
チャネルスキャン

ジョイパッドの右側 (次へ) 又は左側 (前へ) を一回押してチャネルを選択します。又はジョイパッドの右側（次へ） 又は左側 (前へ) を長押しして次のチャネルまでオートスキャンすることができます。

チャネルのプリセット

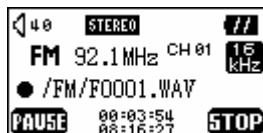
メモリにお気に入りの20チャネルをCH01からCH20に記憶させることができます。

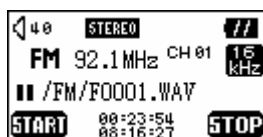
1. 始めに記憶させたいチャネル(周波数)を選択します。
2. **PLAY** ボタンを押すと、“SET CH”のメッセージがディスプレイに表示されます。

3. ジョイパッドの右側 (次へ) 又は左側 (前へ) を押して、お好みのチャネルステーション(CH01 から CH20)を選択します。**PLAY** ボタンを押すと選択されたチャネルは選択したチャネルナンバーに保存されます。**MENU** ボタンを押すとチャネル設定は中止されます。

プリセットチャネルの選択

1. **A-B** ボタンを押して、チャネルモードに切り換えます。

2. ジョイパッドの右側 (次へ) 又は左側 (前へ) を押して、お好みのチャネル(CH01 から CH20)を選択します。

❖ チャネルモードでは、保存したチャネル(CH01 から CH20)からのみの選択となります。手動で他のチャネルをスキャンする場合、チャネルモード設定に戻ってください。

3. **A-B** ボタンを再び押すとチャネルモード設定に戻ります。

FM チャネルの録音

1. 録音したいチャネルを選択します。
2. **REC** ボタンを 2 秒間押します。
3. **REC** ボタンが一回押されると、選択したチャネルの録音が始まります。ディスプレイでは**[/FM/]**のフォルダの下に録音している FM ファイルが表示されます。レコーディングファイル名は[**F0001. WAV**]から始まり、次のファイル名は[**F0002. WAV**]というように順に続きます。

❖ ディスプレイでは、全録音時間が現在の録音時間の下に表示されます。

4. **PLAY** ボタンを押すと録音をポーズすることができ、再び **PLAY** ボタンを押すと録音が再開されます。

5. **REC** ボタンを 2 秒間押すと、録音を停止し、ディスプレイは録音する前の FM 状態に戻ります。

	録音レベル	チャネル	サンプル周波数	512MB	1 GB	2 GB
FM 録音	Low	2 (stereo)	8 KHz	16 hr	32 hr	64 hr
	Normal	2 (stereo)	16 KHz	8 hr	16 hr	32 hr
	High	2 (stereo)	32 KHz	4 hr	8 hr	16 hr

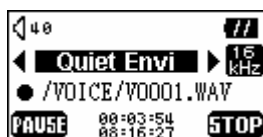
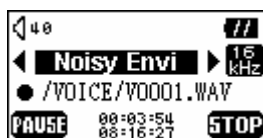
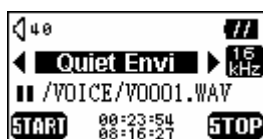
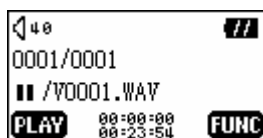
ボイスレコーディング機能

ボイスレコード

ボイスレコーディング機能で、マイクロフォンから音声を録音することができます。

1. FM 機能を除き、いずれのモードでも **REC** ボタンを 2 秒間押すとボイスレコードが開始されます。

❖ FM 機能では、**REC** ボタンを 2 秒間押すと FM の録音が開始されます。

2. OLEDディスプレイの[**/VOICE/**]フォルダの下に保存されるレコーディングファイルが表示されます。レコーディングファイル名は[**V0001.WAV**]から始まり、次のファイル名は[**V0002. WAV**]というように順に続きます。

❖ 雑音が多い場合は、ジョイパッドの右側 (次へ) を押して“**Noisy Envi**“を選択することで録音品質を改善できます。

3. **PLAY** ボタンを押すと録音をポーズすることができ、再び **PLAY** ボタンを押すと録音が再開されます。

4. **REC** ボタンを 2 秒間押すと、録音を停止し、ディスプレイは録音機能に戻ります。

5. **PLAY** ボタンを押すと録音されたファイルが再生され、**MENU** ボタンを長押しするとナビゲーション/設定モードに移動します。 (詳細については MP3 機能の“ナビゲーション機能の利用”や“設定モード”の項目を参照ください。)

❖ 十分な電源があれば: 512MB メモリでは 32 時間のボイスレコードの保存が可能です。
1GB メモリでは 64 時間のボイスレコードの保存が可能です。

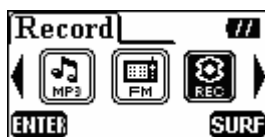
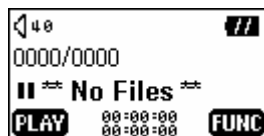
	録音レベル	チャネル	サンプル周波数	512MB	1 GB	2 GB
ボイスレコード	Low	1 (mono)	8 KHz	32 hr	64 hr	138 hr
	Normal	1 (mono)	16 KHz	16 hr	32 hr	64 hr
	High	1 (mono)	32 KHz	8 hr	16 hr	32 hr

❖ 良好な録音状態にするためには音源を **T.sonic** のマイクロフォンに近づけて保存してください。

 録音モードでは、スクリーンセーバー機能は無効となります。

録音したファイルの再生

FM ラジオやマイクロフォンから録音したファイルを再生します。

1. **MENU** ボタンを押して、メインメニューを開きます。**Record** アイコンを選択し、**PLAY** ボタンを押して、録音機能を開きます。

2. 利用可能な MP3 又は WMA ファイルがない場合、OLED ディスプレイに “ **No Files** ”(ファイルがありません)メッセージが表示されます。

3. ジョイパッドの右側 (次へ) ▶ 又は左側 (前へ) ◀ を押して、お好みの録音ファイルを選択します。

4. **PLAY** ボタンを押すと録音されたファイルが再生され、**MENU** ボタンを長押すとナビゲーション/設定モードに移動します。(詳細については MP3 機能の“ナビゲーション機能の利用”や“設定モード”の項目を参照ください。)

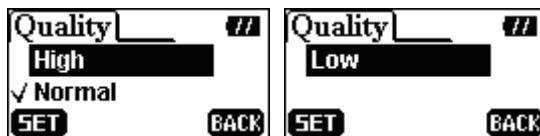
設定

MENU ボタンを押して、メインメニューを開きます。**Settings** アイコンを選択し、**PLAY** ボタンを押して、設定メニューを開きます。

音質

音質を NORMAL、HIGH、 LOWのいずれかに設定することができます。高い音質にするほどより大きな保存領域が要求されます。

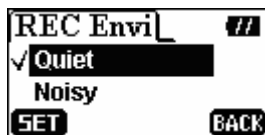
1. ジョイパッドの上側 (ボリュームを上げる) ➕ 又は下側 (ボリュームを下げる) ➖ を押して、設定メニューの **REC Quality** アイコンを選択し、ジョイパッドの右側 (次へ) ▶ を押して、設定画面を開きます。

2. ジョイパッドの上側 (ボリュームを上げる) ➕ 又は下側 (ボリュームを下げる) ➖ を押して、音質を選択し、**PLAY** ボタンを押して音質レベルを保存します。 選択されたレベルにはチェックマークが表示されます。

3. ジョイパッドの左側 (前へ) ◀ を押して、設定メニューに戻ります。また、**MENU** ボタンを押すとメインメニューに移動します。

録音環境

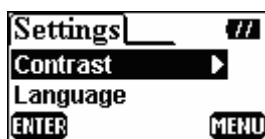
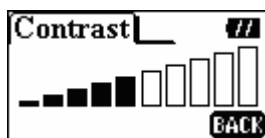
録音環境をQuiet又はNoiseに設定し、使用環境に適応させせます。

1. ジョイパッドの上側 (ボリュームを上げる) ➕ 又は下側 (ボリュームを下げる) ➖ を押して、設定メニューの **REC Environment** アイコンを選択し、ジョイパッドの右側 (次へ) ▶ を押して、設定画面を開きます。

2. ジョイパッドの上側 (ボリュームを上げる) ➕ 又は下側 (ボリュームを下げる) ➖ を押して、録音環境を選択し、**PLAY** ボタンを押して録音環境を保存します。選択された項目にはチェックマークが表示されます。

3. ジョイパッドの左側 (前へ) ◀ を押して、設定メニューに戻ります。また、**MENU** ボタンを押すとメインメニューに移動します。

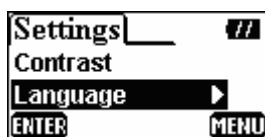
コントラスト

OLEDディスプレイのコントラストを設定します。

1. ジョイパッドの上側 (ボリュームを上げる) ➕ 又は下側 (ボリュームを下げる) ➖ を押して、設定メニューの **Contrast** アイコンを選択し、ジョイパッドの右側 (次へ) ▶ を押して、設定画面を開きます。

2. ジョイパッドの上側 (ボリュームを上げる) ➕ 又は下側 (ボリュームを下げる) ➖ を押して、コントラストの設定を変更します。

3. **PLAY** ボタンを押、設定メニューに戻ります。また、**MENU** ボタンを押すとメインメニューに移動します。

言語

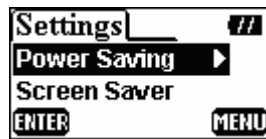
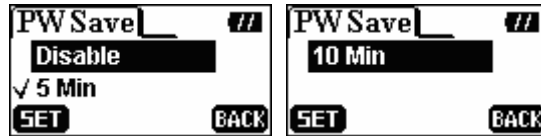
MP3/WMAファイルのファイル名やID3(ID3はタイトルやアーティスト等のミュージックファイルについての情報をテキスト情報で提供します)タグ/ファイルの表示に対応するため言語オプションを設定します。MP3/WMAファイルのID3タグ/タイトルが存在する場合、それらが始めに表示されます。そうでない場合、ファイル名が表示されます。

1. ジョイパッドの上側 (ボリュームを上げる) ➕ 又は下側 (ボリュームを下げる) ➖ を押して、設定メニューの **Language** アイコンを選択し、ジョイパッドの右側 (次へ) ▶ を押して、設定画面を開きます。

2. ジョイパッドの上側 (ボリュームを上げる) ➕ 又は下側 (ボリュームを下げる) ➖ を押して、言語を選択し、**PLAY** ボタンを押して言語設定を保存します。 選択された言語にはチェックマークが表示されます。

3. ジョイパッドの左側 (前へ) ◀ を押して、設定メニューに戻ります。また、**MENU** ボタンを押すとメインメニューに移動します。

パワーセーブ

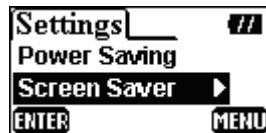
T.sonicが自動的にオフになる時間を設定します。

1. ジョイパッドの上側 (ボリュームを上げる) ➕ 又は下側 (ボリュームを下げる) ➖ を押して、設定メニューの **Power Saving** アイコンを選択し、ジョイパッドの右側 (次へ) ▶ を押して、設定画面を開きます。

2. ジョイパッドの上側 (ボリュームを上げる) ➕ 又は下側 (ボリュームを下げる) ➖ を押して、オプションを選択し、**PLAY** ボタンを押してパワーセーブ時間を保存します。選択された項目にはチェックマークが表示されます。

3. **5 MIN** 又は **10 MIN** を設定した場合、**T.sonic** は 5 分又は 10 分間使用がなかった時に自動的にオフになります。**DISABLE** (無効にする)を設定した場合、**T.sonic** は自動的にオフになることはありません。

4. ジョイパッドの左側 (前へ) ⏪ を押して、設定メニューに戻ります。また、**MENU** ボタンを押すとメインメニューに移動します。

スクリーンセーバー

OLEDディスプレイが自動的にオフになる時間を設定します。

1. ジョイパッドの上側 (ボリュームを上げる) ➕ 又は下側 (ボリュームを下げる) ➖ を押して、設定メニューの **Screen Saver** アイコンを選択し、ジョイパッドの右側 (次へ) ⏩ を押して、設定画面を開きます。

2. ジョイパッドの上側 (ボリュームを上げる) ➕ 又は下側 (ボリュームを下げる) ➖ を押して、オプションを選択し、**PLAY** ボタンを押してスクリーンセーブ時間を保存します。選択された項目にはチェックマークが表示されます。

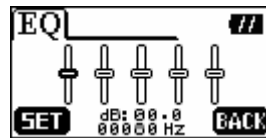
3. **1 MIN** 又は **5 MIN** を設定した場合、**T.sonic** は 1 分又は 5 分間使用がなかった(ボタンが押されなかった)時に自動的に OLED ディスプレイはオフされます。どれかのボタンを押すことでスクリーンセーバーを解除できます。**DISABLE** (無効にする)を設定した場合、OLED ディスプレイは自動的にオフされることはありません。

4. ジョイパッドの左側 (前へ) ⏪ を押して、設定メニューに戻ります。また、**MENU** ボタンを押すとメインメニューに移動します。

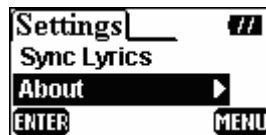
録音モードでは、スクリーンセーバー機能は無効となります。

EQ モード

1. ご利用になりたい EQ モードを選択

2. ジョイパッドの右側 (次へ) ▶ 又は左側 (前へ) ◀ を押して、周波数帯(80/250/1K/4K/12KHz)を切り換え、ジョイパッドの上側 (ボリュームを上げる) ＋ 又は下側 (ボリュームを下げる) − を押して、-14dB から+14dB 間で 0.5dB 単位で設定してください。

3. **PLAY** ボタンを押して、設定メニューに戻ります。また、**MENU** ボタンを押すとメインメニューに移動します。

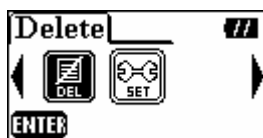
情報

1. ジョイパッドの上側 (ボリュームを上げる) ＋ 又は下側 (ボリュームを下げる) − を押して、設定メニューの **About** アイコンを選択し、ジョイパッドの右側 (次へ) ▶ を押して、画面を開きます。

2. **T.sonic** の firmware バージョンと利用可能な空き容量が OLED ディスプレイに表示されます。

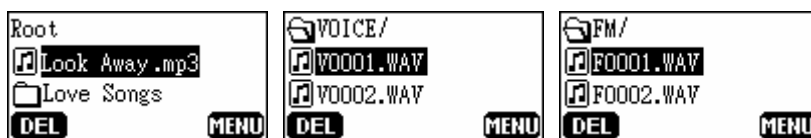
3. ジョイパッドの左側 (前へ) ◀ を押して、設定メニューに戻ります。また、**MENU** ボタンを押すとメインメニューに移動します。

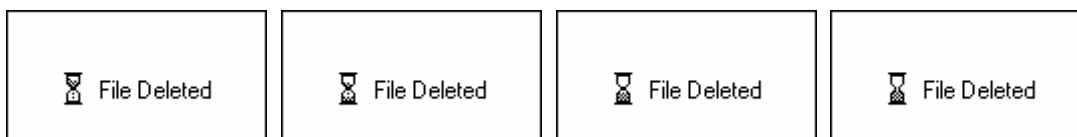
MP3/WMA/WAV ファイルの削除

MP3/WMA 又は録音ファイルを削除します。

1. **MENU** ボタンを押して、メインメニューを開きます。**Delete** アイコンを選択し、**PLAY** ボタンを押して、削除機能を開きます。

2. ジョイパッドの右側（次へ）又は左側（前へ）を押して、削除したいファイルの種類を選択し、**PLAY** ボタンを押します。

❖ ミュージックファイル(MP3 or WMA)を削除する場合、MUSIC FILES を選択します。
❖ ボイスレコードファイル(WAV)を削除する場合、VOICE FILES を選択します。
❖ FM 録音ファイル(WAV)を削除する場合、RADIO FILES を選択します。

3. ジョイパッドの右側（次へ）、左側（前へ）、上側（ボリュームを上げる）、下側（ボリュームを下げる）を押して、ファイル(MP3/WMA/WAV)を選択し、**PLAY** ボタンを押して、削除します。

4. **PLAY** ボタンを押した後、"**Delete?**"のメッセージが OLED ディスプレイに表示されます。**PLAY** ボタンを押すと削除を確認し、**MENU** ボタンで中止します。

5. "YES"を選択すると、削除が開始されディスプレイは以下のメッセージを表示します。

❖ たくさんのファイルを削除する場合はより時間がかかります。
❖ MP3/WMA/WAV オーディオファイル以外の他の形式ファイルに **T.sonic** は対応していません。他の形式ファイルを使用したい場合は、コンピュータで行ってください。
❖ **T.sonic** は MP3/WMA/WAV オーディオファイルのみを削除できます。

6. **MENU** ボタンを押すとメインメニューに移動します。

T.sonic の正しい取り外し方

T.sonicを取り外す前に、**OLED**ディスプレイが***READ/WRITE***の状態でないことを確かめてください！この時に**T.sonic**を外すとファイルや**T.sonic**自体にダメージを与える要因になります。

Windows 98SE から T.sonic を取り外すには

データが転送されていないときに **T.sonic** をシステムより挿し抜いてください。

Windows Me、2000、XP から T.sonic を取り外すには

1. システムトレイにある アイコンを選択してください。
2. **Safely remove Hardware** というポップアップメニューが現れます。クリックして続けます。

3. **'USB Mass Storage Device'** デバイスは安全にシステムから外すことができますというメッセージが現れます。

Mac OS から T.sonic を取り外すには

T.sonic のディスクアイコンをドラッグ＆ドロップでゴミ箱に入れてください。それから USB ポートから **T.sonic** を外してください。

Linux から T.sonic を取り外すには

umount /mnt/ T.sonic を実行し、デバイスを外してください。

T.sonic のリカバリー

T.sonic が動作しなくなった場合、リカバリープログラムを使って初期設定にリストアすることができます。また、この機能を使い Firmware をアップデートすることもできます。

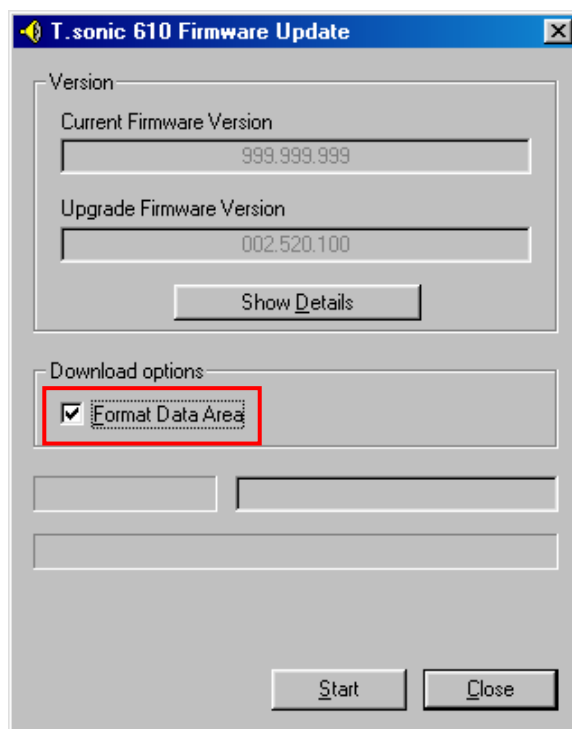
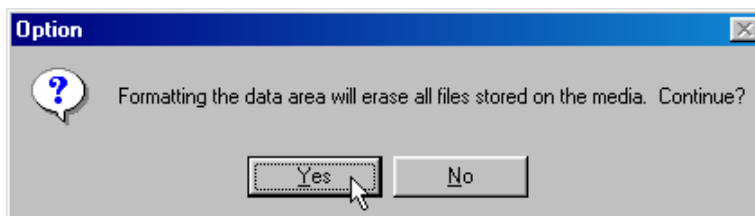
❖ リカバリープログラムを起動すると **T.sonic** にあるデータは全て消去されます。

❖ **T.sonic** のフラッシュメモリに不良ブロックがあった場合、リカバリープログラムを実行後は **T.sonic** のメモリサイズが元のメモリサイズより小さくなります。

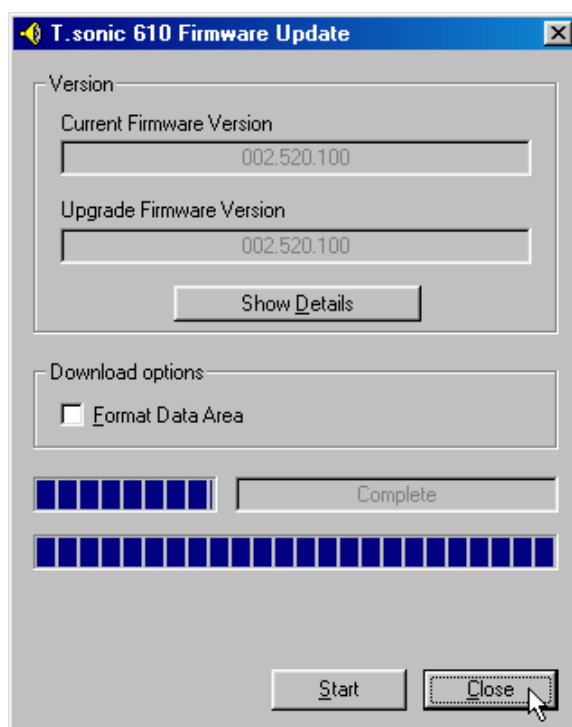
Windows 98SE での **T.sonic** のリカバリー

1. **T.sonic** を利用可能な USB ポートに接続してください。タスクバーにある **Start** ボタンをからプログラム**> Transcend T.sonic 610 > T.sonic 610 Firmware Update** を選択して **T.sonic 610 Firmware Update** プログラムを起動させます。

❖ Windows 98SE ドライバをまだインストールしていない場合は、始めにインストールしてください。

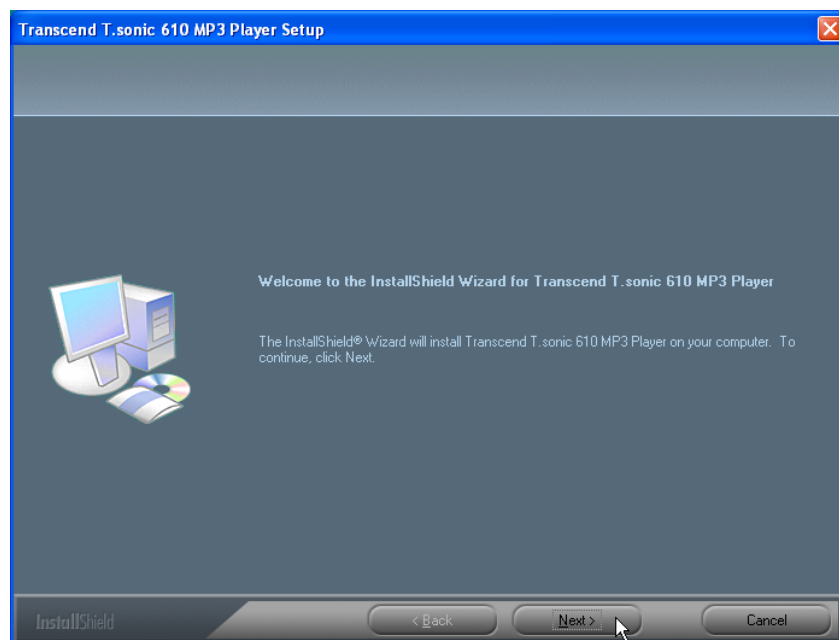
2. **T.sonic 610 Firmware Update** ダイアログボックスが現れます。

3. **Format Data Area** のチェックボックスにチェックをします。**Option** メッセージボックスが現れます。**Yes** を選択して続けてください。

❖ この手順を起動すると **T.sonic** にあるデータは全て消去されます。始めに **T.sonic** 内の全てのデータをバックアップしてください。

4. リカバリーを実行するために **Start** を選択してください。

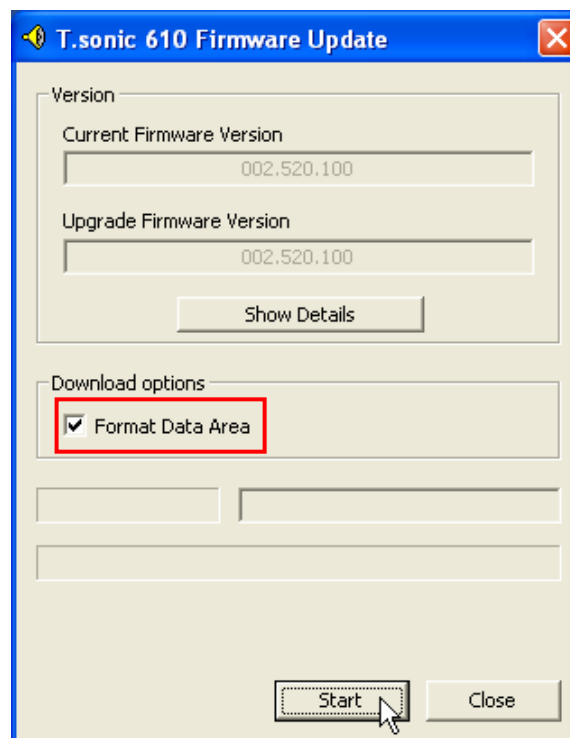
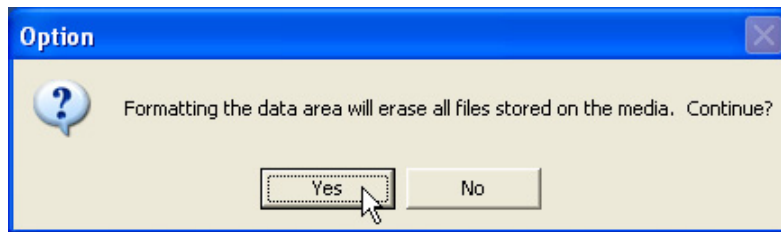
5. **Complete** メッセージが現れます。リカバリーの手順を完了させるため **Close** を選択します。**T.sonic** は初期状態に戻ります。

Windows Me、2000、XP での T.sonic のリカバリー

❖ **Recovery** プログラムがすでにインストールされている場合は 1-3 のステップは省略してください。

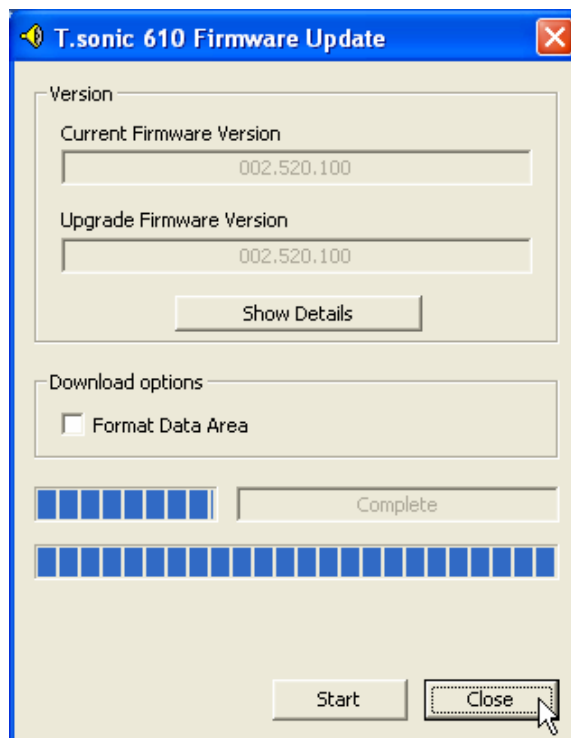
1. ドライバ CD を CD-ROM (オートラン対応)に挿入し、**T.sonic** スプラッシュスクリーン上の **Recovery** ボタンをクリックします。

2. **Transcend T.sonic 610 MP3 Player Setup** のウィンドウが現れます。**Next** をクリックして続けます。

3. インストールシールドウィザードが起動しますので、ディスプレイの指示にしたがってインストールを実行してください。
4. **T.sonic** を利用可能な USB ポートに接続してください。
5. **New Hardware Found** (新しいハードウェアがみつかりました)というメッセージが表示されます。

6. タスクバーにある start ボタンをからプログラム> **Transcend T.sonic 610 > T.sonic 610 Firmware Update** を選択して **T.sonic 610 Firmware Update** プログラムを起動させます。

7. **T.sonic 610 Firmware Update** ダイアログボックスが現れます。

8. **Format Data Area** のチェックボックスにチェックをします。**Option** メッセージボックスが現れます。**Yes** を選択して続けてください。

❖　この手順を起動すると **T.sonic** にあるデータは全て消去されます。始めに **T.sonic** 内の全てのデータをバックアップしてください。

9. リカバリーを実行するために **Start** を選択してください。

10. **Complete** メッセージが現れます。リカバリーの手順を完了させるため **Close** を選択します。**T.sonic** は初期状態に戻ります。

MENU Table

- **Music**
  - Play Music
  - File List
  - Quick Set

- **FM Tuner**
  - Scan CH
  - Preset CH
  - Select Preset CH
  - Record FM

- **Record**
  - Play Record
  - File List
  - Quick Set

- **Lock**
- **REC**

- **Delete**
  - Delete Music File
  - Delete Voice File
  - Delete Radio File

- **Settings**
  - REC Quality
  - REC Environment
  - Contrast
  - Language
  - Power Saving
  - Screen Saver
  - User EQ
  - Sync Lyrics
  - About

トラブルシューティング

もし故障が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目をチェックしてください。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店、サービスセンター又は現地のトランセンドオフィスまでお問い合わせください。

Windows でドライバ CD がオートランになりません

コントロールパネルにあるデバイスマネージャーをクリックして CD-ROM ドライブのオートラン機能を可能な状態にしてください。もう 1 つの方法としてはドライバ CD から **T.sonic.EXE** を手動で実行することができます。

OS が T.sonic を検出しません

下記の項目をチェックしてください:

1. **T.sonic** が正しく USB ポートに接続されていますか? 接続されていない場合は、一度取り外してから再度接続してください。
2. **T.sonic** が Mac キーボードに接続されていませんか?　接続されている場合は、キーボードから取り外して Mac デスクトップの USB ポートから接続してください。
3. その USB ポートは利用可能な状態ですか? 利用可能ではない場合は、ご使用のコンピュータ(又はマザーボード)の取扱書を参照して利用可能な状態にしてください。
4. 必要なドライバがインストールされていますか?　ご使用のコンピュータが Windows 98SE の場合は、ドライバ CD からドライバをインストールしなければなりません。**T.sonic** をご使用になる前に"**Driver Installation for Windows 98SE** へのドライバのインストール"を参照してドライバのインストールを完了してください。また、Win ME/2000/XP、Mac OS 10.2.8 以降、Linux kernel 2.4 以降にはドライバは必要ありません。

電源が入りません

下記の項目をチェックしてください:

1. **T.sonic** がコンピュータに接続されていませんか? そうである場合は、取り外してください。
2. **HOLD** スイッチが"**ON**"に設定されていませんか? そうである場合は、"**OFF**"に設定してください。

T.sonic へ MP3 又は WMA ファイルをダウンロードできません。

ドライバをアンインストールしてから再インストールしてください。それでも直らなかった場合は、**T.sonic** のリカバリーを参照して **T.sonic** をフォーマットしてください。

ボタンを押しても動きません

HOLD スイッチが“**ON**”設定されていないか確認してください。そうである場合は、“**OFF**”に設定してください。

トラックを再生して聴けません

下記の項目をチェックしてください:

1. **T.sonic** のルートディレクトリーに MP3 又は WMA ファイルがありますか? ない場合は、まず始めにコンピュータ又はインターネットよりミュージックファイルを転送しなければなりません。(Mpeg I レイヤー3 と WMA ファイルで 32Kbps–320Kbps のレートがサポートされているファイルのみ再生可能)
2. イヤホンは正しくイヤホンジャックに接続されていますか? そうでない場合は、接続しなおしてください。
3. ボリュームの大きさは適当でしょうか? ボリュームコントロールを再生音楽がきこえるまでジョイパッドの上側 (ボリュームを上げる) ✚ を押してください。

トラック名がディスプレイに正しく表示されません

1. **T.sonic** では英語が初期言語に設定されています。始めに言語設定を行ってください。
2. ID3 タグの情報は優先的にディスプレイに表示されます。ID3 タグは Windows Media Player や Winamp を使用して修正できます。
3. ID3 タグが空の場合、ファイル名がディスプレイに表示されます。

録音モードを開けません

録音ファイルが失われていないかを確認するのに 2 つの方法があります。

1. バッテリーの残量が全体の 10%より少ない場合は、録音モードを開くことができません。
2. 録音中に、バッテリーの残量が全体の 10%より少なくなった場合は、録音は自動的に保存されます。

トラックの再生サウンドが断続的にとぎれます

これはイヤホンがイヤホンジャックに正常に接続されていないときに発生します。イヤホンをジャックに入れなおして、正しく接続されているか確認してください。

T.sonic が自動的に止まってしまいます

T.sonic にはパワーセーブ機能があります。**T.sonic** が 5 又は 10 分間待ちの状態(音楽再生やラジオを除く)でいるとパワーセーブモードになり、自動的に電源がオフになります。“パワーセーブ”の項目を参照して、設定を変更してください。

T.sonic が正常に動きません

T.sonic が動かなくなった場合、**Reset** ボタンを押して、初期設定をリストアしてください。リセットプログラムがすべての **T.sonic** の設定を消去します。

T.sonic がデバイスボタンを自動的にロックします

T.sonic にはオートロック機能があります。**T.sonic** が 1 又は 5 分間待ちの状態(音楽再生やラジオを除く)でいるとデバイスボタンはオートロックされます。**"オートロック"**の項目を参照して、設定を変更してください。

T.sonic へコピーしたファイルが見つけられません

再度ファイルをコピーして、**"T.sonic の正しい取り外し方"**を参照し、**T.sonic** を取り外して、その後コピーの手順を完了させてください。

削除したはずのファイルがまだあります

再度ファイルを削除して、**"T.sonic の正しい取り外し方"** を参照し、**T.sonic** を取り外して、その後ファイルの削除を完了させてください。

T.sonic が自動的に OS からはずされてしまいます

この問題は **T.sonic** を USB ポートに接続中、**PLAY** ボタンを押したときに起きます。**T.sonic** を USB ポートから取り外し、もう一度挿入してください。

Windows でフォーマットした後 T.sonic が使用できません

Windows の"クイックフォーマット"や"フルフォーマット"オプションを使ってフォーマットをすると **T.sonic** のデフォルトフォーマットを壊してしまいます。デフォルトフォーマットを取り戻すには以下のリンクを参照し、**T.sonic** の Firmware をダウンロードし、更新をしてくださ
http://www.transcend.co.jp/

仕様

• サイズ:	70 mm × 34.5 mm × 15.5 mm
• 重量:	28g
• データ保存期間:	最大 10 年
• SN 比:	90dB
• 周波数特性:	20Hz–20KHz
• MP3 フォーマット:	MP3 と WMA
• 録音フォーマット:	ADPCM (WAV)
• 圧縮率:	32Kbps–320Kbps
• 認証:	CE、FCC、BSMI

ご注文情報

メモリサイズ	製品番号
512MB	TS512MMP610
512MB	TS512MMP610C
1GB	TS1GMP610
1GB	TS1GMP610C
2GB	TS2GMP610

T.sonic 保証規定

“枠を越えて、更に上に”はトランセンドのカスタマーサービスにおける姿勢です。私たちは常に自身を業界基準よりも高い位置に置くように心がけています。それはお客様の満足を得られるための私たちの義務だと思っております。

トランセンドの製品は全て保証付きで、不良品のないようにテストを受け、公示している仕様に準拠していることを確認しています。トランセンドの **T.sonic** が、推奨された環境において通常の使用をしている間に、製造や部品の不備のせいで不具合が起きた場合、保証期間内であれば修理もしくは互換製品への交換を行います。ここでは保証の条件と制限事項について述べます。

保証期間： トランセンドの **T.sonic** の保証期間は購入より **2 年間**です。購入日を証明する書類をご用意してください。トランセンドは製品を検査し、修理可能であるか、交換が適当であるかどうかを査定します。修理か交換の決定はトランセンドにお任せください。トランセンドでは該当製品と機能的に同等である製品と交換する権利も保有させていただきます。

制限事項： 本保証は、事故、不正扱い、酷使、不正な取付け、改造、間違った使用、電気的問題、製品寿命を超えたハードウェアの障害などによる不良には適応いたしません。トランセンドの **T.sonic** は業界基準に沿っていることが確認されたデバイスと一緒にご使用してください。トランセンドはサードパーティのデバイスとの併用で生じたトランセンド製品不具合によるダメージについての責任は負わないこととします。また、後発的、間接的または偶発的なダメージや、負債、投資の損失、データの損失によるビジネス弊害などについても一切の責任を負わないこととします。

おねがい

・故障品の修理・交換の受け付けは弊社に送付いただくことで受け付けております。返送時は弊社負担ですが送られるときは送料をご負担ください。

・本製品は将来改良の為予告なく変更する場合があります。

・本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げの販売店もしくは弊社サポートセンターにお問合せください。

オンラインで製品登録をお願いいたします。 http://www.transcend.co.jp/registration

Exceeding Your Expectations

トランセンドジャパン株式会社

www.transcend.co.jp